

Watanabe Kuniko Letter

わたなべ邦子レター 2012年新春
京都市伏見区醍醐和泉町47内海ビル2F
[発行責任] 渡辺幸男 [制作] ココロ(株)

京都府議会議員 活動報告紙

邦子レター



式典出席 工場視察 国文祭参加 清掃活動参加

9月23日、藤森神社境内にて「東日本応援まつり」が開催されました。府民グループの提案による府民の手作りの「国民文化祭京都2011まゆまるチャレンジ府民企画事業」として、わたなべ邦子が議員になる前から主宰している日野ヒップホップサークル「ドルフィン」が発表の場として企画運営する予定でした。ところが、東日本大震災

で被災者のお役に立ちたいと共に6月に福島県を訪ねた有志の皆さんにイベントの企画を話したところ、「みんなで東日本を応援する祭りしよう」ということになり、さらに「それなら、ぜひ協力しましょう」とNPOや市民団体、商店、高校、大学、区の深草支所など、参加の輪が広がりました。私も実行委員の一人として参加したのですが、誰も

「文化の交流 東日本応援まつり」をみんなで力を合わせて開催
地域力再生で育んだ府民のパワーが
国民文化祭で花開きました。



ステージを盛り上げた子どもたち



みんなの手作りとアイデアを実践



浪江町からなみえ焼きそばが参加



まゆまるの手作り神輿も登場



幅広い年代が心ひとつにして祭りを盛り上げました



伏工の生徒は「伏見〜るかるた」で参加



福島松崎氏と京都津田氏で演奏

が率先して動き、みんなのアイデアが個々の人脈で次々に広がっていく様子を目の当たりにし、心から驚きました。そして確信したのです。皆さんの自信に満ちた力強さやたくましさは、これまで京都府が取り組んできた地域力再生事業で実践や経験を積んだことで培われていることに。

住民同士が助け合う「絆」と目の前の問題に率先して取り組む「自主性」が必要になります。その力が府民一人ひとりに備わりつつあることにも、イベントの運営に携わって実感しました。行政に求めるだけでなく、府民が主体になって共に事業に取り組み協働のスタイルを浸透させるために、これからは皆様と府政の橋渡しに努めていきたいと思っています。

花山天文台と交流
京都大学の花山天文台（山科区）の柴田台長は、子どもたちや多くの方々に宇宙に興味を持ってもらいたいとさまざまな活動を行われており、宇宙探査機「はやぶさ」のイベントでご縁をいただいで以来、NPO



京都サンガの視察を兼ねた応援で知事と



日本で3番目に大きな望遠鏡

花山星空ネットワークに加入。観望会や「京都千年天文学街道ツアー」など、ぜひ皆様にも体験していただきたいと思っています。

専用球技場の建設候補地として、城陽、舞鶴、京丹波、亀岡が名乗りを上げています。京都市は伏見区の横大路運動公園内での建設の実現をめざして、関係各所に働きかけてまいります。伏見の活性化につながるスタジアムが建設されるよう全力を尽くします。

国土のリダンダンシー
【10月26日・東京】
シンポジウム
関西発！国土のリダンダンシー
～太平洋国土軸のミッシングリンク～
新名神の必要性を訴える山田知事

八幡〜城陽の工事が着工した新名神高速道路。税金は投入せず、災害時の補完性としても重要なものに一部のみ凍結が続くのは関西経済の損失と山田知事が東京でシンポジウムを開催。自民党府議会議員も市町村長らと共に参加し、国会議員に陳情も行いました。

女性局近畿ブロック会議
【10月27日・大阪】
自民党女性局の近畿ブロック会議に京都府連女性局副局長として出席。「リブルの集い」や児童虐待の研修など、京都の活動の報告、国民文化祭のPRを行いました。



副局長として報告



ご苦労に感謝の意を述べました

私立幼稚園園研修大会
長年にわたって幼児教育の推進に貢献された教育者に敬意を表し、功労について京都府知事から表彰状が贈呈。わたなべ邦子は京都府私立幼稚園教育振興議員連盟の会長としてご挨拶させていただきました。

わたなべ邦子とともに歩む会ニュース



11月12日 報告 日帰り京都府探訪 南丹市美山散策

日吉ダム、かやぶきの里の見学、薬草教室の体験など皆さんと楽しい時間を過ごしました。その一部の写真を紹介します。

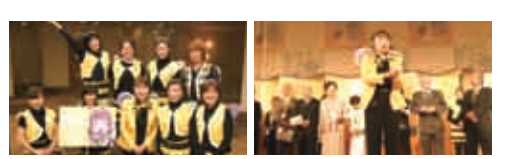


参加募集 わたなべ邦子を囲む会

申込最終 1月16日

2年ぶりの開催。楽しい時間を過ごしましょう！
日時 平成24年1月22日(日) 午後6時
会費 9,000円
場所 ウェスティン都ホテル京都 瑞穂の間(4階)

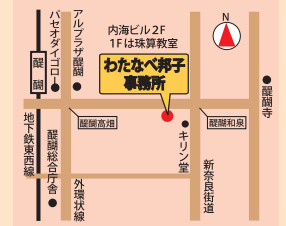
申込み・お問い合わせ
075 わたなべ事務所
573-0080



わたなべ邦子事務所

日々の活動をブログで紹介しています。
※地下鉄「醍醐」駅より徒歩5分。
※醍醐コミュニティバス3号路線「醍醐落西」下車すぐ。

http://d.hatena.ne.jp/watanabekuniko/
京都市伏見区醍醐和泉町47内海ビル2F
TEL 075-573-0080 TEL 075-573-0041



わたなべ邦子のさまざまな活動を紹介します。

地域活動

わたなべ邦子は、伏見の皆さんが行われている行事や取り組みに参加して、そこで気付いたことや、いただいた要望を府政に活かすように心掛けています。今回はその一部をご紹介します。

消防フェスタ



伏見消防署が「第2回消防フェスタ」を開催。ミニカー展示、ぬりえ、放水車やはしご車の見学など、多くの親子が楽しんでいました。学生ボランティアも活躍し、地域交流と防災啓発に役立つ良いイベントでした。

抹茶碗づくり



茶業組合と陶磁器協会が協力して、東日本大震災復興支援のために、小学生たちに絵付けしてもらった抹茶碗を福島に持っていき取り組み。被災地だけでなく、京都での繋がりも増えたこの活動を支援していきます。

女神輿 (桃山東)



桃山東の女神輿を担がせていただきました。自治会で自主的に造られた神輿で、地域に対する強い思いや絆を感じました。

伏見西部ふれあいプラザ



伏見西部ふれあいプラザが開催され、常念寺の童謡くらぶの一員として発表に参加しました。日頃の練習の成果を披露でき、皆さんと楽しいひとときを過ごせました。地域の自主的な活動を支持拡大したいと思います。

信号機・横断歩道など



皆さんから要望のあった信号機やカーブミラーの設置、横断歩道の移動について、現地を確認して警察に働きかけ、実現しています。

いなりんぴっく



伏見稲荷大社御鎮座 1300年を迎え、全国の稲荷神社の門前町が大集合した「いなりんぴっく」を開催。地元商店街やNPOなども協力され、今後も全国に伏見をPRするためにも定着を期待するイベントです。

秋まつり (伏見各地)



伏見の各地で行われた秋まつりに参加しました。わがまちへの思いや、住民の絆の深さが地域の安心安全、住みよいまちづくりに生かされていると実感しました。地域のまつりの重要性を再認識し、その重要性と保存に力を尽くしていきます。

高校生伝統文化授業



伝統と文化への関心を高め、豊かに生きる力を育むことを目的として、今年度は46校全ての府立高校で専門家を講師に迎え、茶道の学習を実施しています。また今年度は6校が華道を取り入れており、伏見の洛水高校で行われた講義と実技の授業を見学にいきました。

大岩街道の歩道清掃



大岩街道の歩道の土砂や雑草を取り除いてほしいと住民の皆さんが要望。行政が用具を提供して、集めたごみを回収するので、みんなで作業できないかと提案したところ、快く応じてくださいました。市民と行政が連携した取り組みをこれからも進めていきます。

羽束師チームが5連覇



京都市内11行政区で優勝チームが一堂に会したチャンピオン大会で、羽束師チームが5連覇8回目の優勝を達成！京都市代表として熊本で行われる全国大会に出場されます。

伏見安全・安心まちづくり大会



伏見警察署、伏見消防署、伏見区役所が連携して、地域の防犯推進委員の皆さんの出席で開催されました。市民一人ひとりが意識し、安全・安心な伏見を作るために、行政も力を合わせてバックアップしていきます。

稲荷・砂川地域 一斉清掃



稲荷児童公園で清掃活動と啓発チラシ付きティッシュの配布をお手伝い。各種団体や若い皆さんも参加。思いが広がるよう努めます。

国民文化祭

まゆまろの妹「まゆこ」も活躍



みんなであつくりあげた国文祭 大盛況のうちに無事閉幕



第26回国文文化祭・京都2011が9日間の日程を終え、11月6日に閉幕。市町村ごとに地域や活動グループの特色を活かした催しが開催され、京都ならではの国文祭になりました。期間中、時間の許す限り観て回り「府民親子ふれあいフェスタ」では伝承遊びで手作りのカクタやスゴロクもあって親子で賑わい、「和太鼓フェスティバル」は太鼓の演奏が素晴らしく入場制限するほど好評でした。「はじめてのお茶とお香」では茶香服や香木の香りなど、普段ではできない体験ができました。気軽に文化を発表できる場が必要と、京都駅前にはウエルカムステージを設置。府民やグループ団体の皆さんに日頃の成果を披露していただきました。観光客や駅を利用される方にも大変好評だったようです。今回は出演者からスタッフまで若者の活躍が目立ち、世代を越えた交流も生まれていました。この成果をより一層大切に拡げていけるよう、今後「まゆまろ」の活用を含め、皆さんと一緒に活動の輪を拡げていきたいと思えます。



国文祭でも大活躍だった3B体操



ご当地グルメフェスタ

ステージ発表も盛況



和太鼓フェスタ

オープニングパレード

除染の現状、避難者の暮らしを視察

自民党府議会議員団で11月28日から1泊2日、福島県と宮城県を訪れました。

びのび学習会、仮設住宅で暮らす方への弁当サービスなど色々な話を伺いました。



東日本応援まつりなどで集まった義援金を被災地で活動する松崎氏にお渡ししました

福島県庁では、国・県・市町村の除染活動についてお話を聞きました。行政はさまざまな除染作業に取り組んでいます。自治会や町内会、学校、PTA、ボランティアなどが除染で清掃や草刈りなどを行う場合、上限50万円を支援する「線量低減化活動支援事業」も始まっています。仙台市では、副区長や市議会議員、自立支援ネットワーク代表、仮設住宅町内会副会長などとお会いし、震災復興計画、の

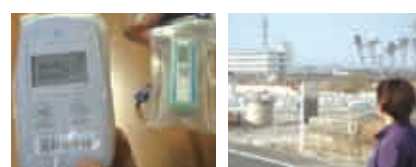
びのび学習会、仮設住宅で暮らす方への弁当サービスなど色々な話を伺いました。翌日、津波被害にあったまちを訪ね、道路や建物が復旧する一方で多くの瓦礫が放置されている現状に心が痛みました。それぞれの立場の人が、震災を機に深くつながり、人の輪を拡げて対応された話を聞いて、行政と市民をつなぐキーマンの存在が重要であることを痛感。被災地支援の継続、震災で得た教訓を生かす活動など、今後も幅広く取り組んでいきます。



慰霊碑に手を合わせ、哀悼の誠を捧げました



壊れたバイクや農機具が学校前に野積み状態



生徒の被曝量を測る線量計 津波被害にあったまち

福島宮城訪問